

屋根の面変形の利用

文書管理番号：1086-01

Q. 質問

屋根面を入力し直さずに、軒の出やケラバの出を調整したり、屋根面の形状を変更したい。

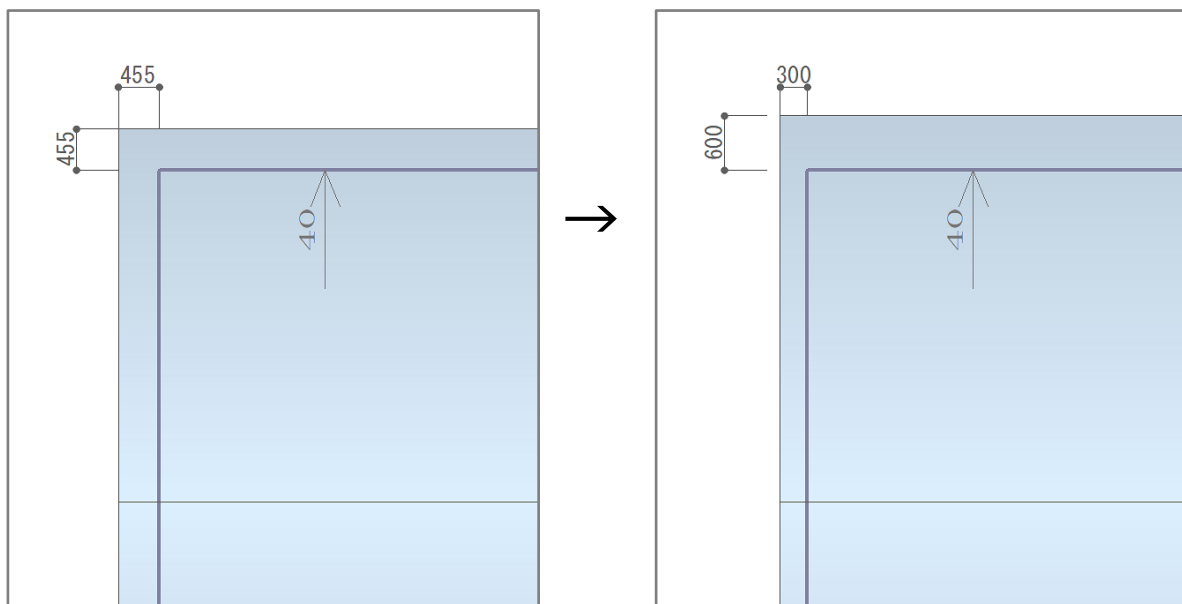
A. 回答

屋根伏図で屋根を作成後、軒の出やケラバの出、屋根面の形状を変更するには、「面変形」を利用します。





面変形は、屋根の設定を変更せずに、屋根面の一部を追加やカット（切り取り）することができ、屋根面を再作成する手間を省くことができます。

ここでは、切妻屋根の軒の出を延長（追加）し、ケラバの出を短縮（カット）する操作を例に、面変形の操作手順を説明します。





下のように、軒の出・ケラバの出ともに 455mm の切妻屋根を、軒の出 600mm・ケラバの出 300mm に変更します。

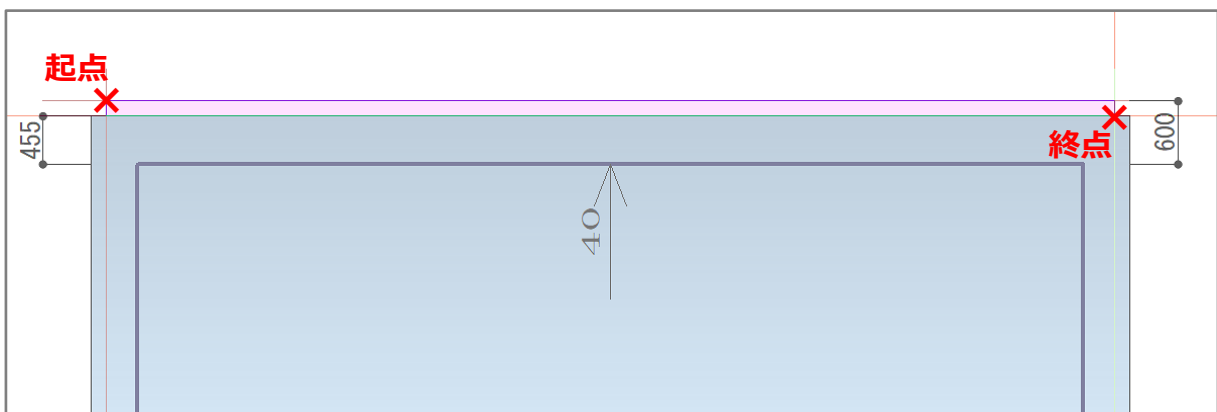


操作手順

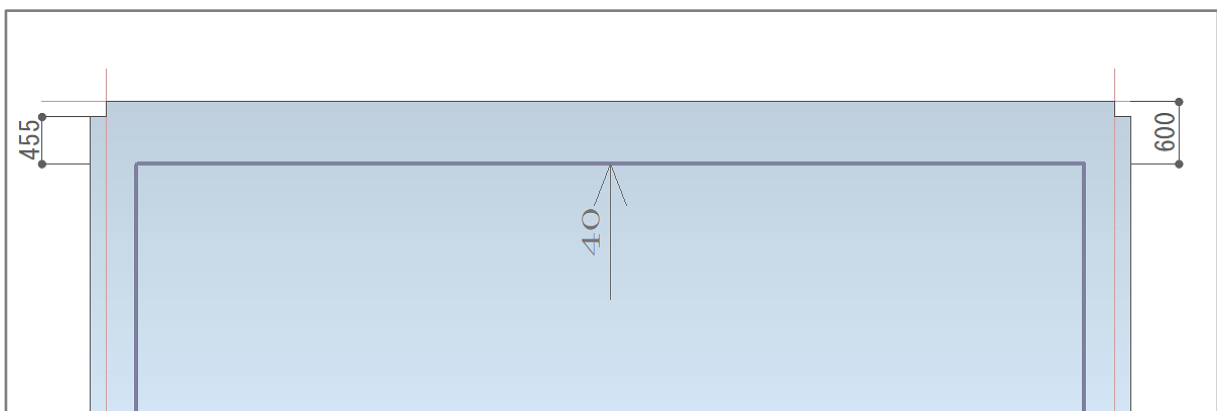
あらかじめ(下書き線)または(補助線)で、軒の出・ケラバの位置を作図しておきます。
(下書き線)や(補助線)の入力方法については、A's (エース) のヘルプをご覧ください。

● 面変形：追加線

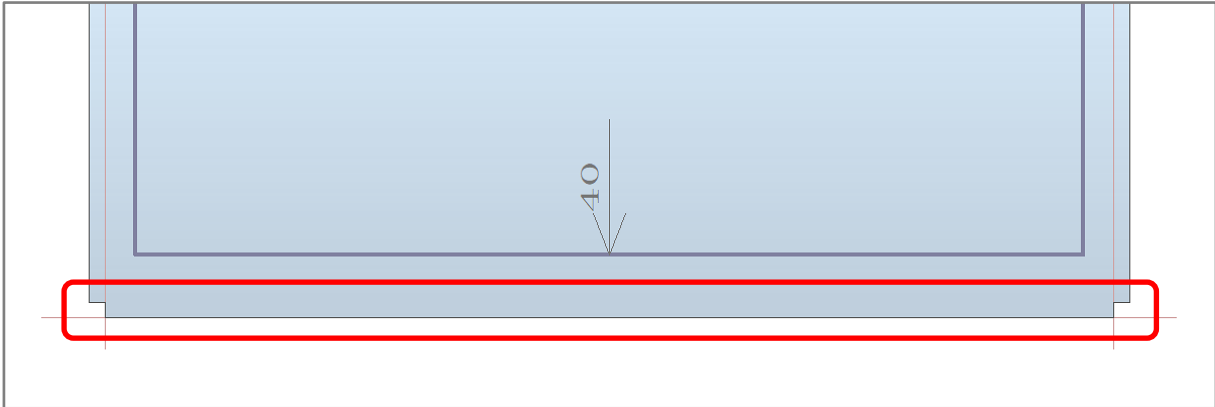
- ① (面変形)をクリックし、(追加線)をクリック
 - * 「配置」⇒「面変形」⇒「凸」と選択してもかまいません。
- ② 配置モードから(矩形配置)をクリック
 - * 変形する屋根の形状によっては、(多角配置)を利用してください。
- ③ 軒の出を延長する範囲を、対角2点の矩形範囲で指定



* 指定した範囲の形状が、屋根面に追加されます。




④ 同様に、反対側の軒の出も追加する




- * 複数の面にまたがるように範囲を指定した場合は、追加の対象となる屋根面すべてが赤くなりますので、追加する屋根面を指示すると、指示した屋根面に追加されます。

● 面変形：カット線

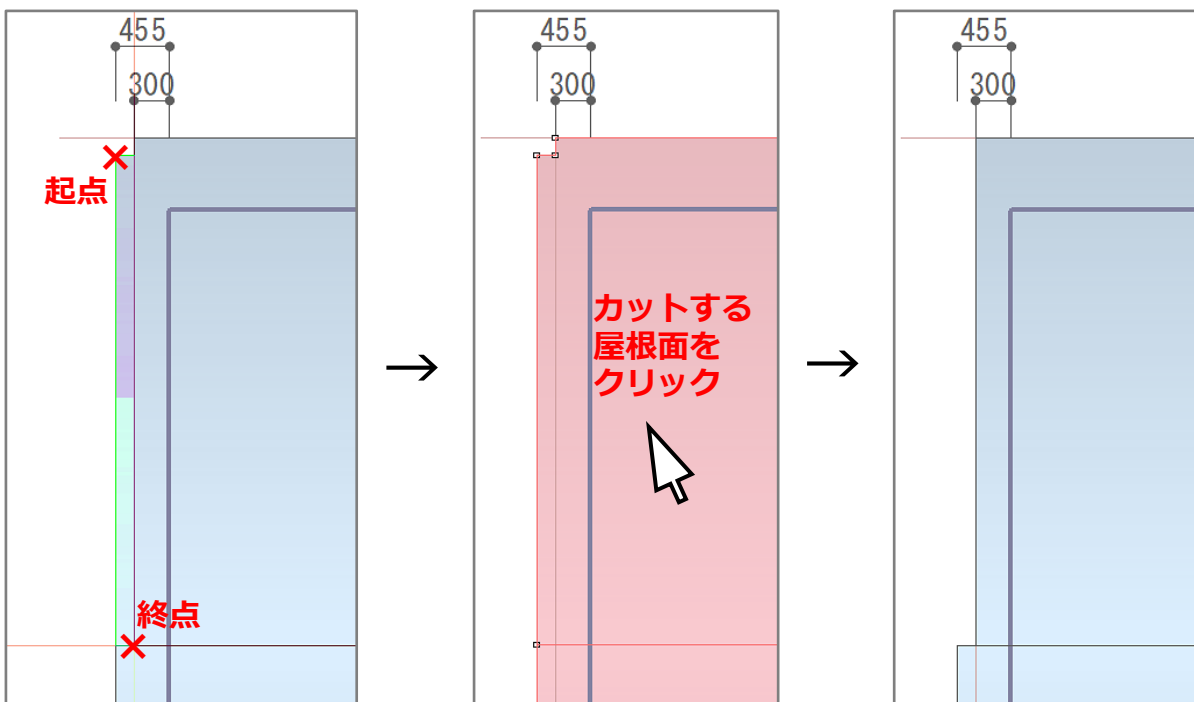
①  (カット線)をクリック

- * 「配置」⇒「面変形」⇒「凹」と選択してもかまいません。

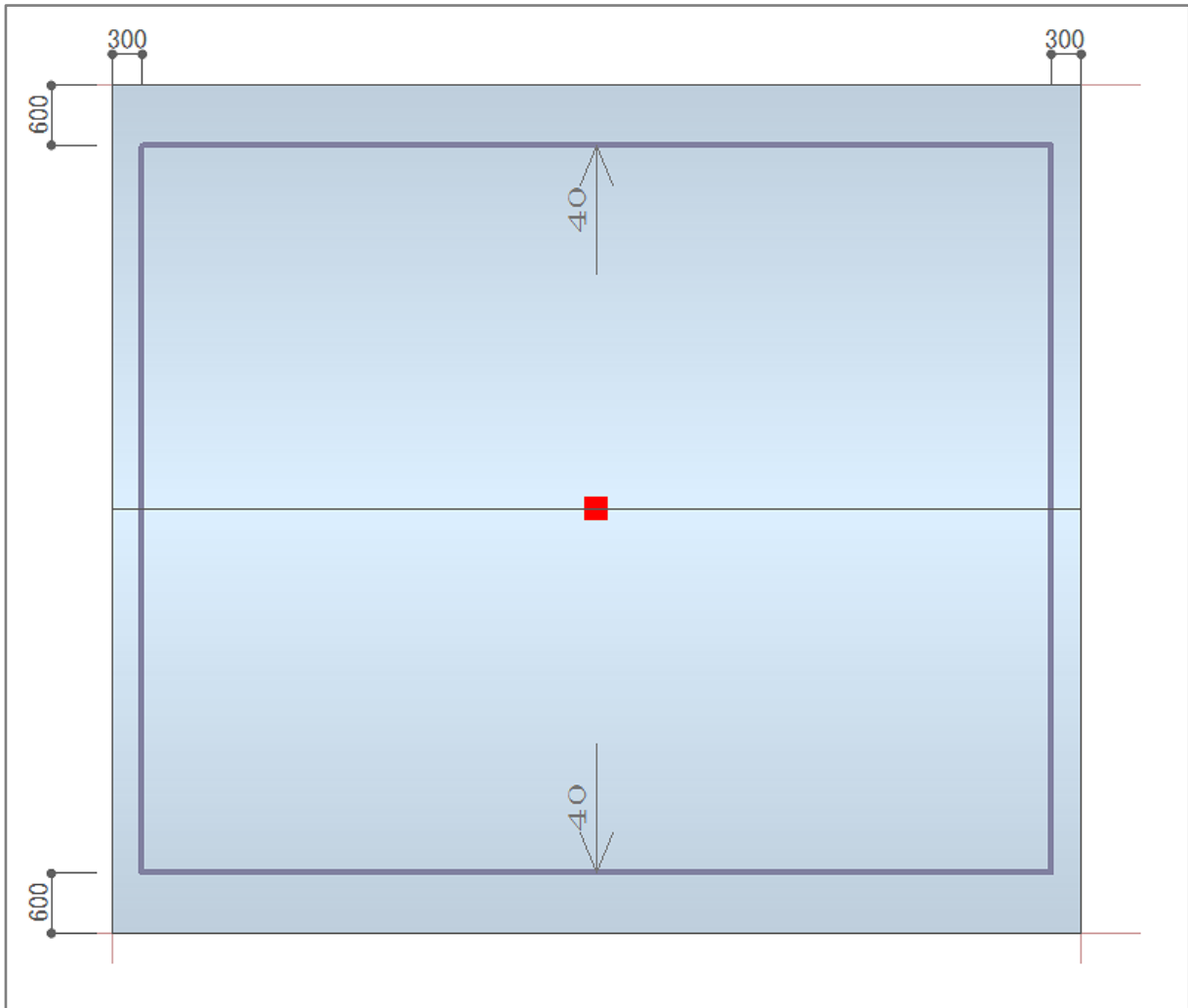
② 配置モードから  (矩形配置)をクリック

③ カットするケラバの範囲を、対角2点の矩形範囲で指定

- * 複数の屋根面にまたがるように範囲を指定した場合は、カットの対象となる屋根面すべてが赤くなりますので、カットする屋根面を指示します。
- * 指示した屋根面で、指定した範囲内にある部分がカットされます。



④ 同様に、その他の屋根のケラバもカット



* 軒の出 600mm・ケラバ 300mm に、屋根面が変更されました。

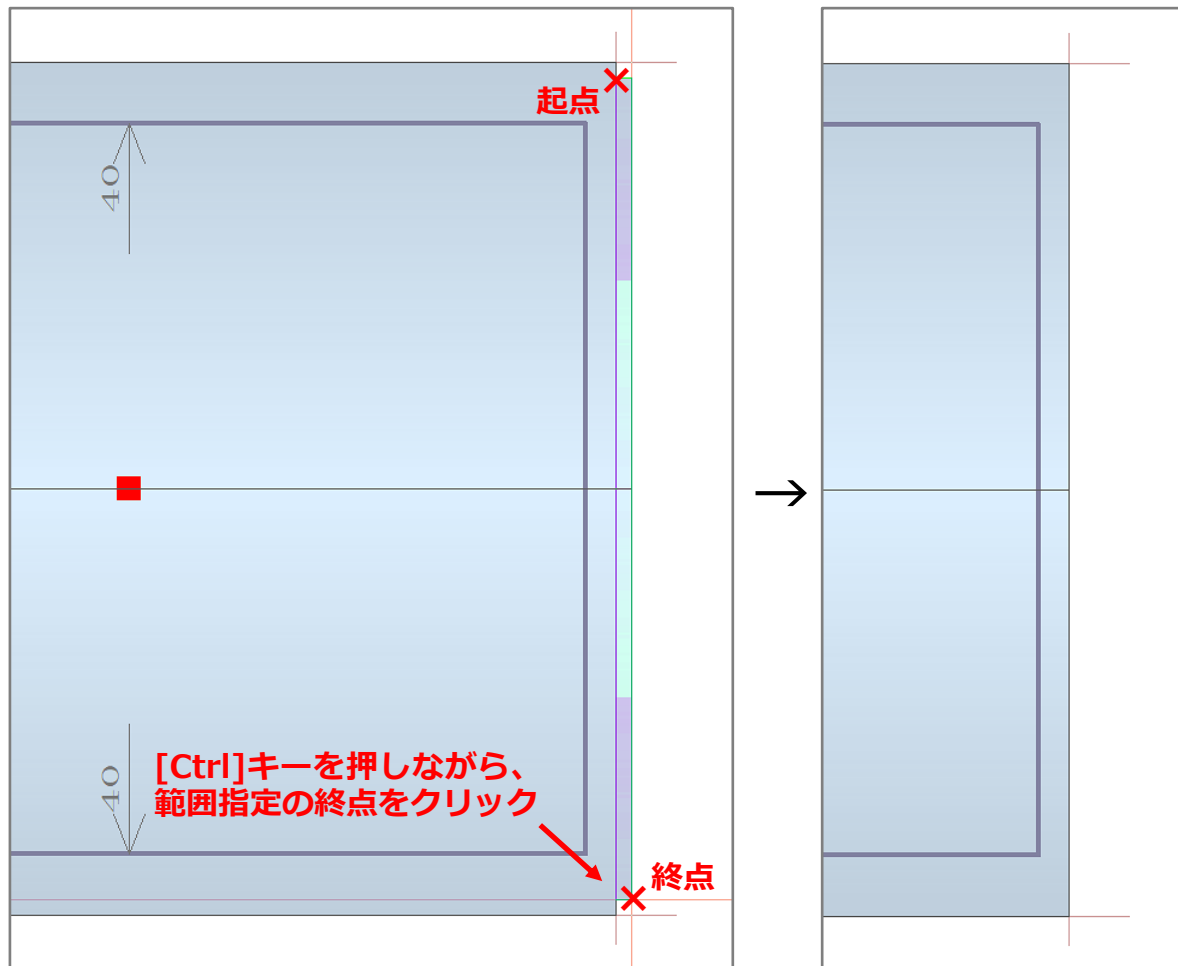
【注意】

自動で作成できる屋根形状であれば、すべて削除して自動作成する方が簡単な場合があります。
面変形を利用するか自動作成をし直すかは、作成する屋根形状に合わせてご判断ください。

参考

● カット線の[Ctrl]キーの利用

面変形のカット線で、複数の屋根面をまとめてカットするには、[Ctrl]キーを併用します。範囲指定の際に、[Ctrl]キーを押しながら範囲の終点をクリックすると、指定した範囲にかかる屋根面をすべてカットします。



* 多角配置の場合も同様に、終点を[Ctrl]キーを押しながらクリックします。

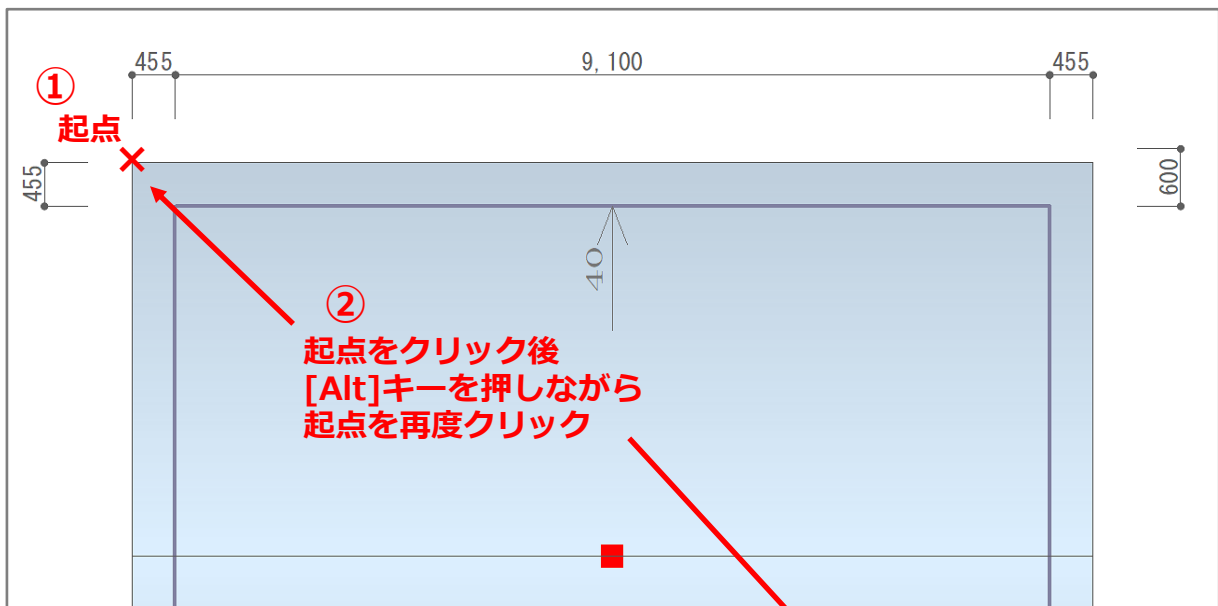
● ポイント設定の[Alt]キーの利用

ポイントを設定する際に、[Alt]キーを押しながら指示すると、指示した位置からの X 方向と Y 方向の移動量を入力して、ポイントを取ることができます。

起点からの距離を指定して、終点や次のポイントの位置を決めたい場合などに利用できます。

【追加線の例：軒の出を 455mm から 600mm に変更】

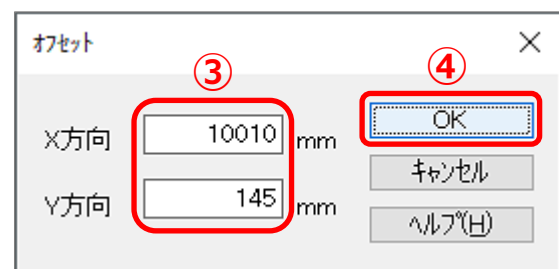
- ① (追加線)の (矩形配置)で、起点をクリック



- ② [Alt]キーを押しながら、起点の位置で再度クリック

* オフセットの画面が表示されます。

- ③ クリックした位置（起点）からの X 方向、Y 方向の移動量を入力



- ④ 「OK」をクリック

* クリックした位置（起点）から指定した移動量の位置に終点がセットされ、屋根面が追加されます。

